



新型コロナウイルス感染について

新型コロナウイルス感染が疑われる方は、直接受信する前に、必ず下記の電話で相談し、指示を受けていただきますよう、よろしくお願い致します。

東京都新型コロナウイルスにかかる電話相談
03-5320-4509
厚労省電話相談窓口
03-3595-2285

日本感染症学会から

新型コロナウイルス感染症

ー共有していただきたい情報と行動

- 1、潜伏期は1～12.5日。発熱、呼吸器症状、だるさがあり、4日過ぎても発熱が続く、特に1週間すぎても発熱が続く場合に、息が苦しい、呼吸器感染症状が悪化するなどを認めた場合には肺炎の合併が疑われます。
- 2、風邪様症状から軽い上気道炎の軽症は多数存在すると思われ、特に治療の必要はなく、1週間で軽快します。1週間以内に症状が軽快しそうであれば、自宅での安静で様子を見ます。家族などの身近な方への感染に気を付け、マスクの着用とこまめな手洗いや手指消毒を心がけましょう。
- 3、1週間以上熱が続く、呼吸音・呼吸器症状の悪化がみられた場合には、左記の相談窓口へ相談して、指示された医療機関を受診してください。その際にはマスクを着用するなど周りへの感染に気をつけてください。
- 4、高齢者・基礎疾患を有する人は外出を控える、人込みの中に入らないようにしましょう
- 3、現在、実施されているウイルス検出のための検査(PCR法)には限界があり、「決して万能ではない」ことをご理解ください。

最近の流行っている病気

インフルエンザもようやく少なくなってきました。嘔吐・下痢の急性胃腸炎、咳がひどいマイコプラズマ感染症が目立ってきました。感染症として、水痘、突発性発疹、溶連菌感染症があります。

Mama&Baby(産後ケア)



もうすぐ4か月になるお母さんたちが「4か月になってここが使いえなくなったら、どこに行けばいいんでしょう？」と困っていました。首が座ってお出かけしやすくなりますが、児童館や子育て広場に行ってもまだおもちゃで遊べないし動き回らないので、はじっこでポツンと座っているだけになることも…。そこで4か月5か月のお母さんとお子さんを対象に、子育て広場モモで「4to5」を始めました。詳しくは「あきやま子どもクリニック」のホームページトップ画面の「子育て広場モモ」をご覧ください。

(文責 酒井敏恵)

訪問看護ステーション



子どものいつもと違う「何か変」という感覚を持つことは大切なことです。その気づきから体調の変化の早期発見につながるからです。障害を持った子ども達には、特に大事な事だと思っています。訪問した時にいつもとちがう「何か変」を感じた時にはご家族に伝え、逆にご家族が感じる「何か変」にも耳を傾け、一緒にみていく事が必要だと思います。「何か変」に気づけるためにも、子どもたちの普段の様子を知っておく事も必要です。

(文責 梅田可愛)

病児保育室便り

お子さん達は歌がとても大好きです。

朝、泣いて来るお子さんも童謡の歌や人気のアンパンマンの歌を唄うと少しずつ落ち着き、気がつけば体を揺らしながら聞いています。

小さいお子さんは手遊びの歌を唄うと、手や体を動かしながら聞いていたりお話しが出来るようになってきたお子さんは一緒に唄ってくれます。

最近では、流行している『パプリカ』の歌を1人のお子さんが唄い始めると聞いていたお子さんも一緒に唄い仲良くなっている姿が見られました。

(文責 千葉美香)



今月の代診と休診



2日(月)	午前診療	宗像先生
6日(金)	午前・午後	宗像先生
11日(水)	午前・午後	宗像先生
25日(水)	午後診療	宗像先生
28日(土)	午前診療	宗像先生

木曜日早朝・午前診療は濱野先生です。